

大型クラゲ情報

各海域でまとまった出現が続く

(1) 県内の出現状況 (水産振興課・各水産事務所・普及所調べ、10月14日現在)

- ・ 県内各海域の定置網等への入網状況は下表のとおり。
- ・ 太平洋南部では1,000個を超える入網が続いています。台風18号通過後の10月9日、階上町や八戸市の漁港等で、大型クラゲの破片の打ち上げが多数確認されました。
- ・ 太平洋北部では一部で1,000個の入網が続いています。
- ・ 日本海では、深浦町椿山周辺で引き続き1,000個を超える入網があります。深浦町北金ヶ沢でも10月13日に1,000個を超える入網があり、同場所では10月10日以降、沿岸寄りでの出現が増加傾向にあるとの情報があります。
- ・ 陸奥湾湾口部付近及び津軽海峡東部では数百個の入網があります。
- ・ 傘の大きさは県内全域で30cmから150cmと幅があります。

表 大型クラゲの出現状況 (定置網等の1ヶ統あたりの入網数)

日/海域	日本海	陸奥湾	海峡東部	太平洋北部	太平洋南部
10月8日	28~1,000以上	-	-	-	-
10月9日	40~1,000	-	-	-	-
10月10日	280~1,000	17~50	-	-	-
10月11日	-	-	-	-	-
10月12日	483~1,000以上	350~500	259~283	50~80	-
10月13日	750~1,000以上	-	70	50~1,000	3~1,000以上
10月14日	-	-	-	300	2~1,000以上



※台風18号等の影響により、10/9前後の太平洋等での操業は少なかった。

※その他

- ・ 津軽海峡西部(外ヶ浜町石崎)10/8 小型定置1ヶ統 200個

(2) 全国の出現状況 (漁業情報サービスセンター (JAFIC)、10月15日現在)

- ・ 秋田県では、10月14日に男鹿の定置網で1,000個を超える入網があり、若狭湾周辺、岩手県でも1,000個以上の入網が続いています。
- ・ 本州北部日本海では、沖合を含め広範囲で分布が確認され、日本海北部と太平洋側はまとまった出現がまだ続くものと予想されます。引き続き周辺情報などに注意してください。

(3) 駆除の状況 (水産振興課、青森県定置漁業協会、JAFIC、10月16日現在)

- ・ (地独) 県産業技術センター水産総合研究所では、同所の試験船により、本日10月16日に大畑漁港を出港し、太平洋沖で洋上駆除試験を実施しております。(気象状況により予定日より1日繰上げて実施)
- ・ 底建網漁業では、10月中旬に県内各地で一斉駆除が実施される予定です。
- ・ 県内各地の定置網でも、引き続き駆除を実施しています。
- ・ 岩手県の定置網の他、福井県の沖合や兵庫県の沿岸で底曳網による駆除が実施されています。